



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Masanori Ooiwa Address: 〒654-0013 1-1-5 Ote-cho, Suma-ku, Kobe, Japan
 Mail : herculesbeatles@gmail.com Tel. : 078-737-0850
 URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

- 国際協会会長 Ulrik Lauridesen (デンマーク)
 “Let Your Light Shine” 「輝かそう、あなたの光を」
- アジア太平洋地域会長 利根川恵子 (東日本)
 “Be the light for change” 「変革のための光となろう」
- 西日本区理事 深谷 聡 (名古屋クラブ)
 “Let's illuminate the light of hope for future”
 「未来に灯そう(ともそう)希望の光り」
- 六甲部部长 井出 浩 (神戸クラブ)
 「YMCA とのさらなる協働を目指して」
- 芦屋クラブ会長 上野恭男
 「楽しいクラブライフを！」

今月の聖句

「手引きしてくれる人がなければ、どうして分かりますよ」
 <使徒言行録 8:31>

7月第1例会

と き: 2023年7月19日(水) 19:00~21:00
 と ころ: ホテル竹園・芦屋 飛鳥の間
 司 会: 柏原佳子ワイズ

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 開会点鐘 | 上野恭男会長 |
| 2. ワイズソング斉唱 | 一同 |
| 3. 聖書朗読 | 羽太英樹ワイズ |
| 4. ゲスト・ビジター紹介 | 柏原佳子ワイズ |
| 5. 食前感謝 | 大岩雅典ワイズ |
| 6. 会食・歓談 | |
| 7. 六甲部部长訪問 | 井出浩六甲部部长 |
| 8. メンバースピーチ | 島田 恒ワイズ |
| 9. 事務報告 | 上野恭男会長 |
| 各事業委員報告 | 各事業委員 |
| 10. YMCA報告 | 横山徹太郎担当主事 |
| 11. ニコニコ報告 | 坂東幸子ワイズ |
| 12. 誕生日祝い | 上野恭男会長 |
| | 羽太英樹ワイズ・羽太光子メネット |
| 10. 閉会点鐘 | 上野恭男会長 |

- | | |
|---------|-----------|
| 会 長 | 上野恭男 |
| 直前会長 | 大岩雅典 |
| 副 会 長 | 山口光一・福原吉孝 |
| 書 記 | 柏原佳子 |
| 会 計 | 桑野友子 |
| 監 事 | 島田 恒 |
| 担当主事 | 横山徹太郎 |
| 六甲部交流主査 | 柏原佳子 |



7月キックオフにあたり

会長 上野恭男

芦屋クラブが設立され、25年の歳月が過ぎました。上野はYMCAとのつながりが何もなく、チャーターメンバーとして懸命にクラブ設立に力を注ぎました。今は亡き山口徹ワイズ、森本栄三ワイズ、清水汎ワイズが親しく力を貸してくださいました。

芦屋クラブの歴史を知るチャーターメンバーは、堤 清ワイズと2人になりましたが、創設時の清新にあふれる気持ちはいまだ共有しています。

25周年の節目の年に、会長を務めさせていただき感無量です。YMCAの名誉会員にも推挙され、驚くばかりです。

芦屋クラブはいいクラブだと自認しています。お行儀よく例会をし、2時間を楽しんでいます。楽しくなければワイズではない！この決まり文句は本音です。

1度でも芦屋クラブの例会に参加された方は、楽しさを実感してください。EMCに繋がり、YMCAへの奉仕にも繋がるのです。

この1年、上野は皆さんと共にたのしいクラブライフを過ごすことを夢見ます。ご協力のほどよろしくお願いいたします！



6月例会集計

第1例会出席メンバー	12名	例会出席率	出席者 12名	BF切手 累計 gm
メネット	1名	メイクアップ	2名	
コメット		合計	14名	ニコニコ 12,150円
ビジター	4名	在籍者	17名	
ゲスト	4名	(内広義会員1名)		累計 142,830円
合計	21名	出席率	87.5%	

6月第1例会報告

日時：6月21日(水) 19:00～21:00
場所：ライブハウス スターティング・オーバー (敬称略)
参加者：大岩雅典会長・上野恭男・柏原佳子・桑野友子・島田恒・堤清・中島かおり・濱瀬真知子・坂東幸子・船橋知子・山口光一(各ワイズ)、大岩恵美(メネット)、横山徹太郎担当主事
ビジター：柴田昌一・杉本隆人・田辺征一(神戸学園都市) 山口吉郎(西宮)
ゲスト：大西謙、詔子チェン、島津陽、島津由起子

6月例会はスペシャル企画であった。3年間芦屋クラブ会長を立派に貢献された大岩会長が新設されたライブハウスでの例会である。会場に入ってみると、大岩会長らしい、雰囲気



凝ったしつらえ、舞台、席の配置もユニークであった。ゲストに大西先生のほか桑野・柏原姉妹のお姉さまが米国から帰日

中参加、柏原長女夫妻も初対面、ビジターとして田辺・山口・杉本・柴田諸氏も駆け付けてくださった。

開会点鐘・ワイズソング・聖書朗読と読み解き、横山主事のお祈りで準備された豪華弁当とドリンクを楽しんだ。賑やかな歓談も進むころ、本日のゲスト演奏開始、Madoca Jazz Quartettoの登板となった。「イパネマの娘」に始まるヴォーカルとピアノ・ベース・ドラムによる演奏に酔い、ラストは「テネシーワルツ」で幕を閉じ、アンコールで「素晴らしい世界」が披露された。



事務諸報告、YMCA 報告、ニコニコと続き、6月誕生日上野・桑野・船橋メンが祝福に与った。そして、大岩店主が3年間会長を務めた最終挨拶と閉会点鐘となった。お世話いただいた大岩会長と奥様に盛大な拍手と感謝が捧げられ、今年度芦屋クラブの例会を終了した。



ちなみに、Starting Over(「元気よく始める」というような意味か)は年中無休(大丈夫かな。健康に気を付けて!)、立地もよく、サービス行き届きリーズナブルプライス、Madoca 出演も度々あるライブハウス、ワイズのメンバーに広く、居場所のようになってワイズメンに親しまれるようになってほしい。

島田 恒

第26回西日本区大会

芦屋から柏原書記、桑野ワイズ、船橋ワイズと上野の4人で伊丹空港から熊本空港まで空路で参加しました。

7年前に熊本大地震の直後の西日本区大会に参加したことを思い出しました。いま、熊本城は天守閣の復興を終え、参観が出来るようになったそうですが、石崖など全面復旧にはあと30年かかるとのことでした。

6月10日(土)朝、楽しかった前夜祭の余韻が残る中、西日本区大会会場の熊本城ホールに向かいました。大岩会長の代理で



パナーセレモニーに参加

する柏原書記は、場慣れているので安心でした、13時より大会はスタート。パナーセレモニーは例年よりゆったりと行われ、柏原書記は濃紺の帽子をかぶり、さわやかな登場でした。いい写真も撮ることが出来ました。

メモリアルアワーでは、あまりに多くの知人、友人が天に召されたことに、改めて残念に思いました。

大会は、例年のようなアトラクションはなかったのですが、講演会「スーダンに再び笑顔を! ~今、私たちに出来ること~」は圧巻でした。認定NPO法人人口シナンテス理事長、川原尚行氏が映像と共に語る現実のすさまじさに息のみました。

濁った川の水を飲む現地人と心を通わせるには、まず自らその水を飲むことで始まるのだと語る河原氏の行動に感動



しました。医師として医療にも携わりながら、闘争に明けくれるスーダンの現場を肌で感じる事が出来ました。

大会初日が終わり、懇親会会場のホテル日航熊本までタクシーで向かいます。タクシー待ちは長蛇の列、ここで一波乱ありましたが、またの機会に書かせていただきます。

19時から懇親会が始まり、熊本を代表する人気者「クマモン」の登場です。クマモン音頭でしょうか、ひとしきり踊って大人気でした。700人を集めた今大会は、コロナで鬱積した心を、より戻すような熱気にあふれたものでした。

懇親会を終えると、仲間と語らって夜の街を楽しんだ昔はいまいずこ! ホテルの自室に直行する自分をどう考えればいいのか

翌朝はゆっくりと食堂で朝ごはんですが、これも昔のような食欲がなく、山海のご馳走も目でいただくばかり。残念。

大会2日目はバラバラで参加しましたが、船橋ワイズは若いので好奇心旺盛、電車利用しての交通手段も1番早い。

上野はゆっくりと殿様参加しましたが、閉会式が感動モノでした。閉会挨拶と点鐘に立った田上理事が無言で数分、感極まった時は男も涙するものです。

振り返るといい大会でした。久方ぶりに会えた多くのワイズに感謝でした。また会える日がいつになるか、自らも元気でと心に想った熊本大会でした。

上野恭男

前夜祭

前夜際は「熊本キャスルホテル」の最上階で開催されました。8年前の熊本大会は、大変な台風被害にみまわれた中で元岩本理事の決意の元、西日本区大会が開催されたことが大きな話題になり、前夜祭当日行なわれる「ワイズゴルフコンペ」にも参加しました。応援の気持ちも有りましたが、次期理事が、六甲部大野 勉ワイズ・主催は当然六甲部という事を踏まえ芦屋クラブはこのゴルフコンペを引き受けようと、恒例のゴルフコンペの仔細を学びたいと考えたのです。



今回は、コロナが終わった開放感が、前夜祭申し込みに繋がりました。芦屋クラブは、船橋ワイズの参加希望が嬉しく4名で参加しました。大野嘉朗ワイズ、三宅敬ワイズのワイズに於ける音楽専門家の音楽が素晴らしかったです。美味しい中華料理、ふんだんなアルコールに久しぶりのマスク無しでヤーヤーと交流でき宴会を文句なく楽しみました。満足し、程良く酔って帰りはH日航熊本までブラブラと歩いて帰りました。明日は、仕事で参加出来ない大岩会長のバナーセレモニの代役で壇上に上がります。ヒールとスーツが余分な荷物に成りましたが、前夜祭の余韻で明日の大会が楽しみになりました。



柏原佳子

熊本城散策

コロナが明けて(?)久々の、熊本へ、そして熊本城の散策を楽しみました。

2016年の熊本地震(M7.3)により、全体の1割の石垣が崩落したり、重要文化財の倒壊破損がありました。復興に向けて、蘇りつつある熊本城に感動しました。



加藤清正公に、城の入り口で出迎へてもらい、中に入りました。

所々に、地震の爪痕が…歩き進めると、“武者返し”と呼ばれる石垣が見られました。“武者返し”とは石垣の下はゆるやかに、簡単にのぼれそうに見えますが、上に向かえば向かうほど反り返りが激しく登ることができないらしいです。



いよいよ天守閣が…

展望フロアーより、この景色を加藤清正公も見られていたのかな…と思えました。右側には、大銀杏があり、加藤清正公のお手植えという云われがあるらしい。右側に、国指定の重要文化財“宇土櫓”が見えます。



熊本城の完全復活まで、約30年かかるらしいので、その時もう一度行けるかな…と思いつつ、帰途につきました。近所で、ハート型(?)のあじさいの花に出会いました。もう一度、行けるかも…

船橋知子

【セピア色の思い出】

◆【ニール・セダカ】と並んで一世風靡した【ポール・アンカ】が81才(1941年生まれ)で今年5月、15年振りに来日したニュースが新聞に…。あの50~60年当時、が国でも日劇ミュージックホールで盛んに開かれていたウエスタン・カーニバルとかロカビリーブームの中でヒットソング、<ダイアナ>や<クレイジー・ラブ>などが平尾昌晃や山下敬二郎等によって歌われていた。[ポール・アンカ]は寂しく切なげなマイナーキー(短調)を曲に入れ込むことで情緒的な音を生んだとも言われてます。<そうなんです。>彼がスターダムにのし上がった当時、歌手は作曲者と分業しており彼はシンガーソングライターの先駆者的存在だった。とも言われていました。◆先を急ぎ本題に入る。彼はカナダ出身だが両親は中東からの移民であり<私のバックグラウンドは中東にある>と語っています。この様な音楽家はアメリカには数多く……。<実は私の愛する大歌手【フランク・シナトラ】と繋がっているヒットソングが存在していた事が数年前まで私は知らず大変驚いています。恐らく皆さんもその一人では……。◆それはあの名曲《マイ・ウエイ》の英語詞を書いたのは彼なのです。ある日シナトラとおじいちゃん、坊やと呼び合う仲になり、彼と食事中のある時、シナトラが告白する。『おれはある事情で引退しようと思っているが最後に君が作った曲を歌いたい。』と言われた。その時にラジオから流れていたフランスのバンドの曲に聴き惚れ、その旋律に【シナトラの人生】を象徴する歌詞を載せようと、必死に作った歌詞を後日見せると、まるで子供ように喜んでくれた。と語っている。◆その曲が【マイ・ウエイ】。1969年に大ヒットしシナトラの代名詞ともなったあの名曲です。<何年かたってシナトラからあの曲に巡り合っ、歌い続ける勇気が湧いた>と言われた時は感激で胸が一杯になったよ。と語っている。(一説では同じ境遇だった【ポール・アンカ】自身の人生も含まれているとも……。)◆後には【エルビス・プレスリー】はじめ多くの歌手によりカバーされ、回数が史上1位の【ビートルズ(イエスタデイ)】に次ぐ2位だったとも言われている。◆【作曲者(原曲)】……クロード・フランソワ◆【作詞者(英語版)】……ポール・アンカとなっており、当初はフランス語のシャンソンだった。まさか【ポール・アンカの作詞】だったとは本当に驚いた。それにしても何と素晴らしい歌だろう。 【篠坂幸彦】



「聖句 読み解き」

イエスの十字架の死と復活を目の当たりにした、弟子たちを中心に教会が誕生した。直弟子だけでなく、教会運営のために選出された執事たちも宣教に活躍したことが使徒言行録から知ることができる。その中にフィリポがいた。かつてイエスの仲間だったとして迫害を受ける心配もある中、彼は聖霊によって「エルサレムを離れ、南のガザへ行け」との指示を受ける。街中でエチオピアの高官の宦官に出会う。宦官はエルサレムでの礼拝の帰途で、馬車の中でイザヤ書53章を読んでいて、それは救い主イエス到来の予言のくだりであった。宦官は「手引きしてくれる人がなければ、どうして分かりましょう」と、フィリポに聖書の意味を尋ねる。フィリポはイザヤ書から説きおこして、イエスについて福音を告げ知らせた。二人は水のあるところに来た。宦官は言った。「ここに水があります。洗礼を受けるのに、何か妨げがあるでしょうか。」フィリポが「真心から信じておられるなら、差し支えありません」というと、宦官は「イエス・キリストは神の子であると信じます」と答え、二人とも水の中に入って行き、フィリポは宦官に洗礼を授けた。この使徒言行録の記事から教えられるのは、迫害という逆境の時にこそ福音のチャンスがあること。一介の執事に過ぎなかった人の宣教活動で教会が発展するきっかけとなったこと、そして旧約聖書の予言とイエスの十字架の福音が深く結びついたこと、3点だと言える。

羽太英樹

6月第2例会議事録

場所： 芦屋市民センター204号室 (敬称略)

日時： 6月28日(水)19:00~20:30

出席： 上野会長、大岩、柏原、桑野、島田、羽太、濱瀬、坂東、福原、(各ワイズ)、横山担当主事 (10名)
齊藤担当主事(オブザーバー)

◇ブリテン編集会議:19:00~19:10 桑野編集長

- ・巻頭言は基本的に会長は7月・1月・6月、各事業委員が強調月間に応じて書く
- ・理事通信を掲載する 別途案内

◇第1例会の予定

- ・7月19日(水)プログラム参照
- ・8月第1例会は、8月5日(土)の六甲部合同納涼例会を第1例会として参加する。
- ・9月20日(水)&10月18日(水)第1例会：未定

◇六甲部第1回評議会

- ・日時：7月15日(土)神戸YMCA 15時~18時

◇今後の予定

- ・7月第1例会にて、みどり作業所へみどり基金贈呈
- ・六甲部納涼懇親会は、六甲部国際・交流主査主催
8月5日(土)15:00~17:00、神戸ニューミュンヘン大使館にて開催
- ・六甲部部会 9月30日(土)神戸倶楽部(通称:外国クラブ)
- ・クリスマス祝会&25周年記念例会:12月22日(金)
18:00~21:00 ホテル竹園芦屋

☆実行委員会は立てず、第2例会で協議して進める

☆姫路グローバルクラブより参加申し込みあり

◇ロスター名簿の確認

- ・各自のクラブ内での役割を確認した

◇5月会計報告

- ・羽太会計より桑野会計に引き継がれ、報告があり承認
- ・羽太ワイズの10年にわたる会計の奉仕を感謝した
- ・みどり基金未納の方は7月例会まで受け付ける

◇その他

- ・横山担当主事より6/24日(土)YMCA総会と、上野ワイズが名誉会員に選ばれ代表で挨拶をしたことなどを報告
- ・総会参加者：上野・大岩・島田・柏原・横山担当主事
- ・YMCAへの贈呈記念品に対してYMCA齊藤担当主事から依頼案が出され、今後の検討事項とする

文責 柏原佳子書記

YMCA ニュース

2023年総会報告 (抜粋)

2023年6月24日(土)神戸YMCA 2023年総会が、神戸YMCA三宮会館で開催された

第1部：中道基夫会長より、開会挨拶及び大会趣旨の説明がなされた

第2部：総会議長は中道基夫会長(会則第25条による)

- ・まず人員および定足数の確認、総会成立宣言がなされた
- ・次に、逝去者を偲んで黙祷がなされた。この1年間に逝去された方々のお名前を読み上げた後、黙祷の時を持った
- ・続いて、名誉会員の紹介があった。会則第11条に基づき、第1回常議員会にて推挙され、ご本人の意思確認を経て名誉会員となられた方々のお名前が紹介された。
- ・芦屋ワイズメンズクラブの上野恭男さんも名誉会員となられ、代表してスピーチをされた (巻頭言写真掲載)



- ・次に、新総会構成員紹介があり、新しく総会構成員になられた方々のお名前が紹介された
- ・続いて、副議長及び書記の選任・議事録署名人の選任がなされた

第1号議案：神戸キリスト教青年会会則改訂の件(省略)

第2号議案：次期総会の件(省略)

- ・続いて、2022年度神戸YMCA報告がなされた(省略)
- ・次に、方針と計画について、井上真二総主事より説明がなされた(以下省略)。

第3部：会員の交流および意見交換の交わりの時間として、会場の出席者がグループディスカッションを行った

その後、グループ発表により、分かち合いの時が持たれた

担当主事 横山徹太郎

編集後記：◆スターティングオーバーでの6月例会、楽しめましたか？◆久しぶりの西日本区大会、ブリテンで参加の気分を味わって下さい◆今期会長の主題「楽しいクラブライフを！」どんどん参加・どんどん投稿、待っています 桑野